

2023/4/1

SPLASH

vol.79

発行元：三信倉庫株式会社 / 発行責任者：大竹英明 / 編集責任者：木村嘉宏

コロナの奇貨

大竹英明

3年に渡ったコロナ禍での生活も、ようやく終わりが見えてきました。コロナウイルスがなくなったわけでも、特効薬ができたわけでもないですが、毒性が弱くなってきたことや、治療の方法が定着してきたということで、コロナ前の生活や社会活動に戻りつつあります。3年も経ってしまうと、以前はどのような活動をしていたか忘れてしまっているところもあつたりしますが、少しずつ思い出したり、新しい行動を起したりして、それが当たり前ようになっていくのでしょうか。

さて、コロナ流行を機に、様々な働き方、生活様式が生まれました。在宅ワークや時差出勤、リモート会議や面談など。ちょうどインターネットというインフラが整備され、またスマートフォンの普及でカメラやセンサーなどの部品が安くなったことにより、技術の環境が整ってきたのとちょうどいいタイミングで、一気に普及しました。それに合わせるように、シェアオフィスや仕事用の個室型ブース、様々なリモートワーク用のグッズやサービスが提供されるようになってきています。

これからいろいろな社会活動が以前のように戻ると思いますが、直接会って顔を見ながらアイデアを出し合っていくことなど、元の形に戻ったほうがいいということに加えて、遠くの人でもリモートで、気軽に、頻度を多くコミュニケーションをとることなど、両方のいいところを利用して、これからの社会を構築することになるでしょう。私自身もいろいろな会合に参加している中で、リアルに会っていたものがリモートに移行したもの、コロナの間の中断を経て再びリアルに集まること、リモートがなければ頻繁に集まれなかったプロジェクトについて、オンライン会議を利用して週1回程度の会議を開くこと、遠隔地の知人とオンライン飲み会を開くことなど、コミュニケーションの取り方が多様に、それぞれに必要な形式と頻度で開催できるようになりました。

このように、コロナをきっかけに新しい技術や生活様式が広まりました。コロナ禍が明け、不自由のない生活ができるようになって、よいものは取り入れ、よりよい生活、職場環境を作っていきたいと思います。



倉庫業青年経営者協議会 企業交流会 in 和歌山

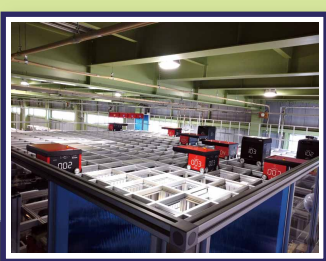


営業部
高野智尋

2月9日～10日の日程で、倉庫業青年経営者協議会の企業交流会に参加させていただきました。
今回はトーヨーカネツ(株)和歌山工場でオートストアー見学とアドベンチャーワールドのSDGsの取り組みに関するバックヤード見学をしてきました。

トヨタカネツ(株)和歌山工場見学

皆さん、トヨタカネツ(株)という会社をご存じですか？
私は名前を聞いたことがあるような無いような程度で、どんな会社かは知りませんでした。
自動倉庫の製造を行っています。私達の生活で目にすることがある製品を紹介すると、空港の預け荷物を受取るターンテーブルを作っています。
今回見学したオートストアーは従来の自動倉庫(マルチシャトル)よりも高い保管効率を実現した自動倉庫です。ちなみに、マルチシャトルはアマゾンの物流センターに導入されているようです。(荷役速度はマルチシャトルの方が早いとのこと)
オートストアーの詳細は動画で見てもらうのが一番なので、興味がある方は検索してみてください。
和歌山工場ではオートストアーを導入する以前は、中量ラックで貨物を保管し、作業員がピッキングを行っていました。それがオートストアーを導入したことにより、保管面積は80%縮小、作業員は75%削減できたそうです。ただし、導入費用は約1.5億円かかったそうです。(3年前に導入しており、現在はもっと高いとのこと)
現在の三信倉庫の貨物では導入は現実的では無いですが、日本社会が抱える超高齢化社会における労働力不足の対応として、需要は十分にあり得ると思いました。



貨物を保管するコンテナを
格納・取出しするロボット達

貨物をコンテナに格納・取出しするワークステーション
ここで全ての作業を行えるので、歩行レスピッキングが実現！

貨物が保管されるコンテナ
ワークステーションでの俯瞰図

アドベンチャーワールド見学

こちらは皆さんもご存知だと思いますが、日本一パンダが多くいるテーマパークです。
様々なSDGsに繋がる取り組みをしています。その中で、パンダに関する取り組みを一つ紹介します。
パンダ1頭が1日に消費する竹の量は15~20kgなのですが、実際に与える竹の量はその3倍です。パンダは選り好みをして食べるそうです。パンダだから仕方ないですけど、パンダは贅沢な奴です。しかも、食べるのは枝葉だけなので、幹の部分は全て無駄となります。ですので、食べられなかった枝葉と幹の年間の廃棄量は約100tだそうです。それらの竹を園内の備品、オブジェ、竹製タンブラーなどへ活用することによって、廃棄量を減らし、資源循環型社会を実現しています。
最後に、上野と違ってすぐにパンダに会えるので、閑散期のこの時期に1度は行ってみたいことをお勧めします。遠方ですけど、飛行機ならすぐです！



永明(えいめい) 30歳
日本パンダ界のビッグダディ(16頭の父)
この体勢でひたすら笹を食べてました
2月22日に中国に返還されてしまいました



桜浜(おうひん) 8歳
桃浜(とうひん)との双子
ピクリともしませんでした
こちらも永明と一緒に返還されてしまいました



戸塚倉庫外壁改修



戸塚倉庫は来年 2024 年で竣工 35 周年を迎えます。綺麗に使っていただいているということもあり、築年数ほどの古さを感じる物件ではありませんが、やはり築 30 年を経過した頃から建物の不具合が多発していました。

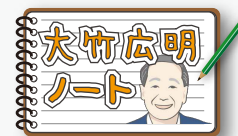
賃貸借契約満了が迫る中、なかなか大量の資金投入を行う大規模修繕に手を付けられずにいたのですが、この度テナントの名精運輸様と 10 年間という長期での契約更改（しかも賃料アップ！）ができたため、外壁の改修工事を実施しました。

施工は城南島流通センターの外壁改修でもお世話になった東急建設様。前回と同じく、下請けの三和建装様との強カタグで美しく仕上げてくださいました！食品を扱う倉庫なので匂いに気をつける必要があったり、トラックの出入りが多い日中を避けての夜間作業が必要だったりと面倒な制約も多い中、工期通りに仕上げてください感謝しかありません。

デザインは宮尾先生監修のもと、三信カラーのラインを少し細くし、途中で切れていたラインを横面まで延長。小さなこだわりですが、実際に比べてみると結構印象が変わりました。ベースカラーは竣工写真から当時と同じ薄いグレーに塗ってもらいましたが、長年蓄積した汚れで外壁の色も変わっていたようで、こちらも見違えるほどに。もちろんコーキングのやり直しやクラック補修もしてもらい、これでしばらくは安心です。

こうして綺麗に生まれ変わった戸塚倉庫。南面の外壁は東海道線の車窓からも見えますので、ご乗車の際には「三信倉庫」の文字を目印にぜひ探してみてくださいね！

読書のすゝめ



街中から書店が消えている。日本人の活字離れが、出版社や書店を直撃している結果だ。通勤電車の中でも本や新聞を読んでいる人はまれで、殆どの人はスマホをいじっている。スマホでも情報は仕入れることができるが反論されそうだが、私からするとスマホから得た情報は断片的で知識は増えても、思考には大して寄与していない。SNSは単なる会話で、中には利他的な投稿や無責任な発信もあり、人格を高める道具とは言えない側面がある。

江戸時代、全国では藩校が武家の若者を教育した。庶民には寺子屋があり読み書き算盤や行儀を習った。その結果、江戸時代末期の日本人識字率は70%もあり、その当時ロンドンやパリでの20~10%の識字率と比べると格段の差があった。

江戸末期、欧米列強がアジア・アフリカの多くの国を侵略し領地とした時代、日本が独立を保てたのは、欧米人が日本人の文明度の高さに驚嘆して手を出せなかったとも言われている。維新後、福澤諭吉の著した「学問のすゝめ」は大ベストセラーとなり日本人の10人に1人は購読したことからも、その当時の日本人の知識欲の深さと読解力の高さは窺い知れる。

近年、感染症の蔓延、国境を越えての侵略、GDPの伸び悩みなど、わが国を取り巻く課題は山積している。こんな時代にあって、付和雷同せず自立した人間を育てる読書は必須だと思うが、私の独善であろうか。

Suguru Shiratori



タブレットで漫画や小説を読む。読書に夢中になって度々電車やバスを乗り過ごしてしまふほど充実した通勤ライフを送っています。

Hidekazu Tachibana



家族と行く予定のある場所や行ってみたい所を携帯で調べています。今一番行きたい場所は、那須です。グランピングやサブ、ジップラインをしたいと思っています。

イタバシのつばやき

通勤中のワタシ月

自転車で通勤しているので、とにかく安全に運転することを心がけています。行きは毎朝すれ違う人達やバスの位置をいつもと見比べて、帰りは夜ごはんや将来を考えながらゆっくりお家へ帰ります。

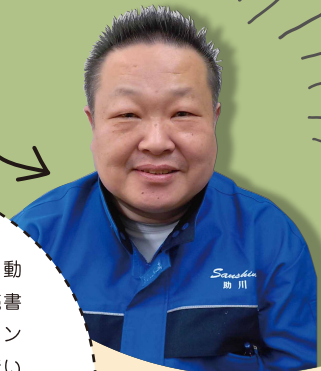
趣味の車やゴルフの YouTube や Netflix で映画を観ている時間が多いですね。ただ 30 分もすると眠くなってしまい……………まだ寝過ごしたことは 2 回しかありません (笑)

Miho Siegwald



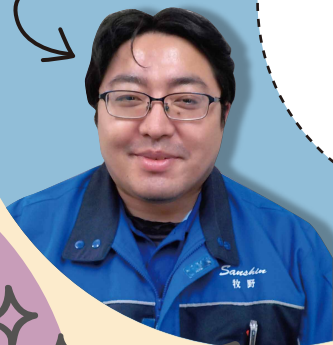
耳で音楽、radiko、ポッドキャストなど。目でスマホ、読書、YouTube、ゲームなど。通勤時間が長いので、時間を有意義に使っています。基本的には、寝ません。

Hiroyuki Sukegawa



趣味である読書やゲーム、動画を見たりしています。読書は小説、ライトノベル、マンガをジャンル問わず読んでいます。ゲームは主にスマホで「Fate/Grand Order」をプレイしています。前日のニュース等を確認していることもあります。

Katsuya Makino



Aoi Yamaguchi



推し活!!!!ライブに行く1ヶ月前くらいから独自でプレイリストを作って予習してみたり、電車が空いている時は電子書籍を読んだり、過去のライブ映像を見て思い出に浸ったり…。とにかく楽しいことを考えるようにして息抜き + 活力を養っています。

Naoki Maruyama



PIN UP BOARD

創立68周年記念品（2月3日） 総務部

毎年従業員（新卒内定者を含む）と関係者の皆さまにお送りする記念品。今回は「保冷エコバック」と「卓上加湿器」の組み合わせです。

「保冷エコバック」は再生素材で作られた環境にやさしいクーラーバック（三信オリジナルロゴ入り）。くりりとまとめられるゴムが付いているので折りたたんでコンパクトに持ち運ぶことができます。お弁当入れから買い物バックまで様々な用途でご使用いただけます。

「卓上加湿器」はペットボトルサイズでワイヤレスだから邪魔にならず持ち運びにも便利。一度のバッテリー満充電で約3時間稼働。USB や別売の AC アダプターで連続使用も可能です。音も静かでデスクやキッチン、車の中など様々なシーンでご利用いただけます。

今回選んだ2つの商品、偶然にも商品名が「MOTTERU(モッテル)」と「MOTTOLE(モットル)」。全くの別会社ですが「お客様の声をカタチにする」「誰もが持ちたくなる」等の共通したコンセプトを持つ企業の商品です。

今後も「持っている」と便利「こんなモノが欲しかった」と思ってもらえるような記念品選びをしていきたいです。



品川営業所（寄託部分）移転先決定

宇野敦之

品川（営）の移転先について約3年前から活動してきましたが、寄託部分については品川区八潮の東京レールゲートWESTに決定しました。この東京レールゲートWESTは7階建、延床面積21,800坪のとても大きな倉庫となっており、その中の4階西側部分（約1,300坪）を7月より5年間借りることになります。

各階にトラックの接車が可能となるランプ式倉庫となっているため荷物の移動は水平移動のみとなり荷役がしやすい倉庫となっております。また1階にはコインシャワーやコインランドリー、6階には24時間利用可能なカフェテリアが設置されており、就業者にとっては環境が良い倉庫でもあります。

残すはアクアクラブラントの移転先となりましたが、こちらも早く決められるように引き続き活動して参ります。

新年顔合わせ会・勤続表彰 総務部

年が明けた1月11日（水）、本社では新年顔合わせ会が開催されました。

今年も立食形式ではなくお弁当とお土産形式にしましたが、総勢40名以上の先生方・社員が集まり近況報告などに華を咲かせていました。

また今年はお土産も会長の粋な提案により福引き形式とし、美味しいお菓子から話題のお菓子、過去に作成した創立記念品などが用意されました。欲しかったものを交換！？でゲットした人もいたみたいで、皆さん楽しんでいただけたのではないのでしょうか。気になる1等賞は『岩田さん』でした！羨ましい。来年は誰の手に！？

最後に忘れてはならないのが勤続表彰。今年は8名の方が表彰されました。そんな中、長澤所長はなんと40年勤続表彰！現代において高校卒業と同時に入社し1社に勤めあげているその姿は若手社員の大きな目標になったと思います。3月からはマスクの着用もTP0を選びながら自己判断などという話も出てきていますので、来年は口元から笑って顔を合わせられることを楽しみにしていようと思います。

年賀状作成秘話

福井蘭子

今年の年賀状は、昨年の「動き出そう」から一歩進んだ「具体的に動き出す」という姿勢を表すものとして、「ホップ ステップ ジャンプ」がキャッチコピーに。その跳ぶイメージに合ううさぎ（干支でもあるし）をメインキャラに、昨年冬眠から目覚めたくまもちょこっと登場させました。うさぎが楽しそうに元気に飛び跳ねている姿を描くのには力を入れました！！

来年もサンシンらしくポップでキャッチーな年賀状が作れるよう、スタッフ一同頑張ります！



長かったトンネルもやっと出口が見え、明るい社会が戻りつつあります。そんな輝く季節に5名の新入社員をお迎えすることができました。早くサンシンの仕事に慣れてバリバリ働く姿が今から楽しみです。

会社も通常の業務やイベントが戻りつつあります。先輩社員も自分たちが入社したころのことを思い出し、温かく迎えてあげてください。